

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

R4 開始現検「菊美翔平」好成績が続々判明中!!

令和4年に現場後代検定を開始した「菊美翔平」の枝肉成績が続々と判明しています。

《調査牛》	R5.12.14	枝重 594 kg	・ BMSNo.12(去勢)
	R5.12.18	枝重 451 kg	・ BMSNo.12(去勢) 【写真①】
《一般出荷》	R5.12.14	枝重 579 kg	・ BMSNo.10(去勢)
f調査対象外	R5.12.18	枝重 449 kg	・ BMSNo.11 (雌) 【写真②】

令和5年12月末時点で、調査牛における去勢の成績は、枝重 545 kg、BMSNo.11.0となっており、特にBMSNo.については本県歴代最高(9.1)を大きく更新する勢いです。

令和6年1月24日には、未調査牛のうち、去勢2頭、雌1頭の成績が新たに判明する予定であり、令和6年5月までには全頭の成績が出揃う見込みです。

R4年度現場後代検定「菊美翔平」の成績 (速報値)※

性	調査済頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪の厚さ(cm)	歩留基準値	BMS No.	BMS No.12率(%)	A5率(%)	未調査頭数
去	11	28.2	545	73	8.8	3.2	75.2	11.0	61.5	84.6	2
雌	2	28.7	503	61	8.6	3.5	73.7	9.5	(8/13)		5

※ F) "%&" %時点で成績が判明している調査牛の集計値



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～
 ← 【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー
 Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →



I黒199 キクミシヨウヘイ

菊美翔平

黒15705(82.1) H31.3.25生
産地: 奥州市胆沢
繁殖者: 小野寺弘美氏
個体識別番号: 1602861488



辰美継	飛良美継	平茂勝	第20平茂	気高
		かよみつぐ	ふくみ	宝勝
黒原5709 (83.6)	ひらかつ	勝忠平	第20平茂	気高
		ふくこ	第12みつぐ	金水9
みゆき	茂洋	茂勝	平茂勝	第20平茂
		こざき	うめ2	忠福
	ゆきの	平茂勝	神高福	忠福
		やよい	ひめ2	金徳
黒原1519387 (80.3)	ゆきの	茂重波	茂金波	
やよい		ひてかつ	茂重波	
		系晴波	第7系桜	
		あわたに1	系花	
		第20平茂	気高	
		ふくみ	宝勝	
		紋次郎	安美土井	
		あきやよい	秋重	



調査牛【写真①】 去勢 菊美翔平×安亀忠×安福久
枝重:451kg ロース:60cm² バラ厚 8.5cm 歩留 74.5 BMSNo.12



一般出荷【写真②】 雌 菊美翔平×平北勝1×安福久
枝重:449kg ロース:61cm² バラ厚 7.9cm 歩留 74.2 BMSNo.11

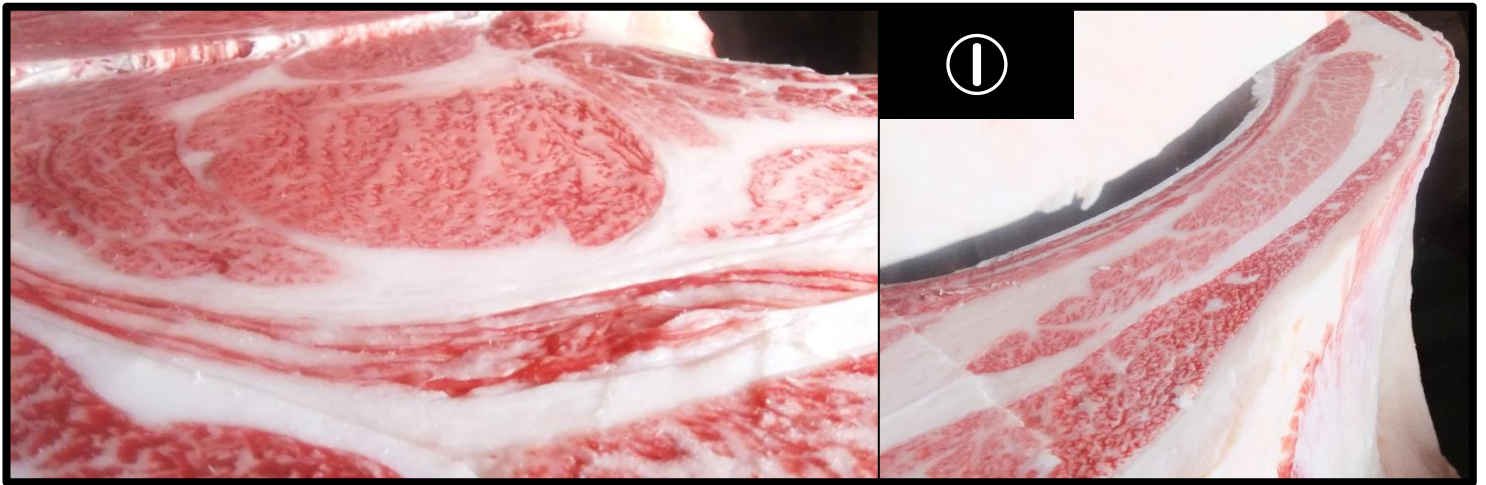
～ 県有種雄牛枝肉情報 ～

令和5年度いわて牛いわちく枝肉販売会 (第67回県共)

(株)いわちく
R 5. 11. 18

性別	父	母の父	生後 月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪 厚(cm)	歩留 基準	BMS NO.	格付	備考
去勢	花金幸	美津照重	30.7	597	70	9.5	2.4	75.2	12	A5	①
	安久勝晃	美国桜	30.5	592	82	9.6	1.6	77.7	11	A5	②
	安久勝晃	隆之国	29.4	493	72	8.0	1.7	76.4	11	A5	③
	菊勝久	山根雲	30.9	575	64	9.6	2.8	74.5	9	A5	
雌	菊美翔平	芳之国	28.7	499	65	8.2	3.2	74.2	12	A5	※
	安久勝晃	諒太郎	31.8	490	82	7.0	1.8	77.0	9	A5	
去勢(39頭)平均			30.2	553	78	8.9	2.3	76.5	上物率		
雌 (11頭)平均			29.7	458	71	7.8	2.5	75.9	100.0%		

※ 枝肉写真は、たねやま種雄牛だより令和5年12月号(第237号)に掲載。





③

和牛生産者の皆様、購買者の皆様

本年もよろしくお願ひいたします！

日頃より、本県の和牛改良事業、特にも産肉能力検定(直接検定、現場後代検定)について御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

おかげさまで昨年は、現場後代検定枝肉調査会において「福太郎3」、「菊美翔平」が高成績を記録し、最終的な検定成績では、全国トップクラスのBMSNo.となることに期待が高まっています。

本年は北海道全共に向けた取組みも本格的に開始されますので、生産者の皆様と共に上位入賞を目指していききたいと考えております。

また、種山畜産研究室としましては、本県の和牛生産が益々盛んになるよう、優秀な種雄牛の造成と人工授精用凍結精液の安定供給に向けて、職員一同の力を集結し取り組んでまいります。

生産者並びに購買者の皆様方におかれましては、引き続き、県有種雄牛の御利用並びに産子の御購買のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

本年が皆様にとって喜び溢れる1年となりますよう御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和6年1月吉日 種山畜産研究室職員一同